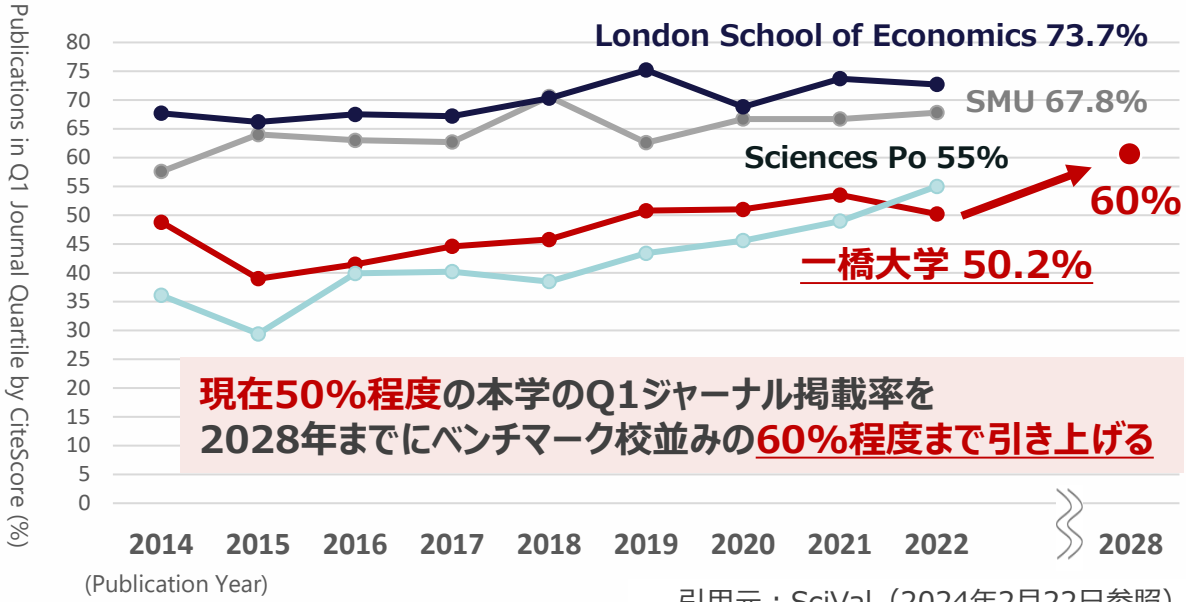
海外ベンチマーク校との比較における新たなKPI

QSランキング苦戦の原因分析を踏まえ、論文の質に着目した新たな目標を設定

Q1(Top25%)ジャーナル掲載率を2028年までに60%にすることを目指す

Q1ジャーナル掲載率(CiteScore)の推移



現在50%程度の本学のQ1ジャーナル掲載率を2028年までにベンチマーク校並みの60%程度まで引き上げる

引用元：SciVal（2024年2月22日参照）

Q１ジャーナル論文数の目標値は180本

本学は2028年までに英文業績数を年間300本にする目標を掲げているため

併せてモニタリングする評価指標

引用元のジャーナルの評判によって引用に重み付けをした指標であるSJR(SCImago Journal Rank)もモニタリングし、現在60%程度の本学のQ1ジャーナル掲載率を2028年までに70%にすることを目指す

なぜTop10%(ジャーナル)ではなくTop25%なのか？

- 社会科学は自然科学と比べて成果発表媒体が多様で、インパクトファクターが分散していることに加え、論文の引用文献データベース(Scopus等)への収録率が低い傾向にある。このため、Top10%ジャーナルを対象にすると論文数がかなり限定され、限られた研究者だけの目標になってしまう
- 本学の過去５年の実績を見ても、Q1ジャーナル掲載論文のFWCIはQ2以下のジャーナル論文と比較して圧倒的に高く、平均の１を上回っていることから、Q1を目標値とすることでも引用指数の改善を見込むことができる